

公益社団法人 全国柔道整復学校協会 監修

外科学概論（改訂第4版 第4刷）

修正表

本書の解説内容について下記の通り修正いたします。

頁	該当箇所	誤	正
39	下7行目から下6行目	卵巣に転位したものはクルーケンベルグ Krukenberg 転移と呼び、胃癌に多い。	卵巣に転位したものはクルーケンベルグ Krukenberg 転移と呼び、胃癌に多い <u>(ただし、リンパ行性転移や腹膜播種の可能性も否定できない)</u> 。
102	2行目から3行目	体腔、臓器内、組織内に起る出血で、皮内、皮下、筋肉内、頭蓋内、胸腔内、腹腔内、消化管内、関節内などに起る。	消化管内、を削除
149	11行目	腺癌と扁平上皮癌はほぼ同数の頻度であり、この二つで肺癌の80%を占める。	腺癌は80%、扁平上皮癌は10%を占め、この二つで肺癌の90%を占める。

2015年6月
株式会社南江堂